



RUN FOR THE FAN AND FUN!!

高知けいば

昨年のレジナディンヴェルノ賞

ミニヨン

騎手：山崎雅由



2月 夜々恋ナイター

2日	4火	5水	9日	11祝火	12水
16日	18火	19水	23祝日	24振月	25火

黒船賞選考競走 第22回

2日 黒潮スプリンターズC

4歳以上／1300m ★地方全国交流

9日 土佐有楽特別

3歳(高知デビュー馬)／1400m

黒船賞選考競走 第12回

16日 だるま夕日賞

4歳以上／1600m

23日 レジーナ ディンヴェルノ賞

4歳以上牝／1900m ★地方全国交流

高知競馬を買うなら楽天競馬

投票 **Oooooon!**

Rakuten 競馬

楽天競馬

検索

競馬は20歳になってから、ほどよく楽しむ大人の遊び。



岡遼太郎騎手



ていたそうで、「やっと今年が始まった感じがします」と言って胸を撫でおろした。走力が高く、人間の扶助に的確に反応するというメイショウウズマサ。いい馬を託されるプレッシャーも、レースや調教で試行錯誤を重ねていくことも、岡騎手にとって糧になるだろう。デビュー4年目の2024年は58勝。岡騎手は「去年よりも勝ちたいです」と言っている。笑んだ。

沢の吉原騎手は1月一杯で今回の騎乗期間を終える。岩手の岩本怜騎手は2月19日まで、金沢の中島龍也騎手は3月4日まで、同じく金沢の加藤翔馬騎手は3月26日までの騎乗を予定している。個々の状況に応じて期間は変更される。

加藤騎手は昨冬に続いて、2度目の高知での期間限定騎乗に励む。昨年は高知での騎乗を終えて金沢に戻り、3月から12月の間になんと104勝を挙げた。デビュー2年目にして金沢リーディングの4位に食い込んだのだ。加藤騎手は言う。

「高知の田中守厩舎で勉強させていただ

高知競馬場の大晦日は活気に満ちている。遊具広場「ババパーク」で夢中になって遊ぶ子どもたち。初めて競馬場へ足を踏み入れたと思しき家族連れが、パドックで楽しそうに「お馬さん」を見つめている。売店もクレープのキッチンカーも大盛況。帰省を兼ねて競馬観戦に訪れた人。高知で年越しを迎える旅打ち民。10年、20年と高知競馬を愛してきた筋金入りの常連さんと顔を合わせると、なんだかホッとします。競馬場で一言二言の会話を交わすだけ。名前も知らない。ただ言葉にできない思い

「返し馬から本当にいい状態を確認できましたし、自信を持ってレースに臨みました。スタートが改善されつつあり、二の脚もしっかりついて、好位の一番いいところで競馬を進められました」

ユー以来最高の馬体重でレースに臨んだ。また、3歳時のレースぶりからすると別馬のような好スタートを決めた。夏負けしやすい性質やまだまだ成長途上であることを鑑み、秋に予定していた遠征計画を白紙に戻してゆったりとしたローテーションを組んだ陣営の判断が、心身の成長と進化へ繋がったのだろう。田中守調教師いわく「もう少し体は増えると思うよ」。吉原騎手いわく「僕はまだ伸び代があると思っています。ただそこはすくく繊細なところなので、上手に育てていかないと」。5歳シーズンの初戦は、だるま夕日賞(2月16日、ダー

元日の準重賞・初夢特別は、メイショウウズマサが単勝1.2倍の圧倒的1番人氣にのって快勝。JRAのオープンで活躍してきたメイショウウズマサは、昨春に高知の中西達也厩舎に転入。これで高知での成績は11戦9勝、2着2回。初めての準重賞制覇となった。主戦を務める岡遼太郎騎手は、師匠の中西調教師に「次は初夢特別に行くぞ」と言われたときから緊張を感じ

高知競馬の底力

～夜々恋ナイターを支える挑戦者たち～

文・井上オークス

高知競馬のゆく年くる年

を共有する同士でもある。1年を振り返りながら、そんなことを考える。2024年は本当に色々なことがあった。

吉原騎手はこう振り返る。



2024.12.31 高知県知事賞で連覇を果たしたユメノホノオ



レースは、マジカルプリンス&永森大智騎手が力強く差し切った。そして元日の第1レースは、ビリーヴサンライズ&永森騎手が鮮やかに逃げ切った。好調の永森騎手、今年の抱負は「真面目に頑張ります」。その後も着実に勝利を重ねている。